

# 株式会社クリーンアップ 健康経営の取り組み

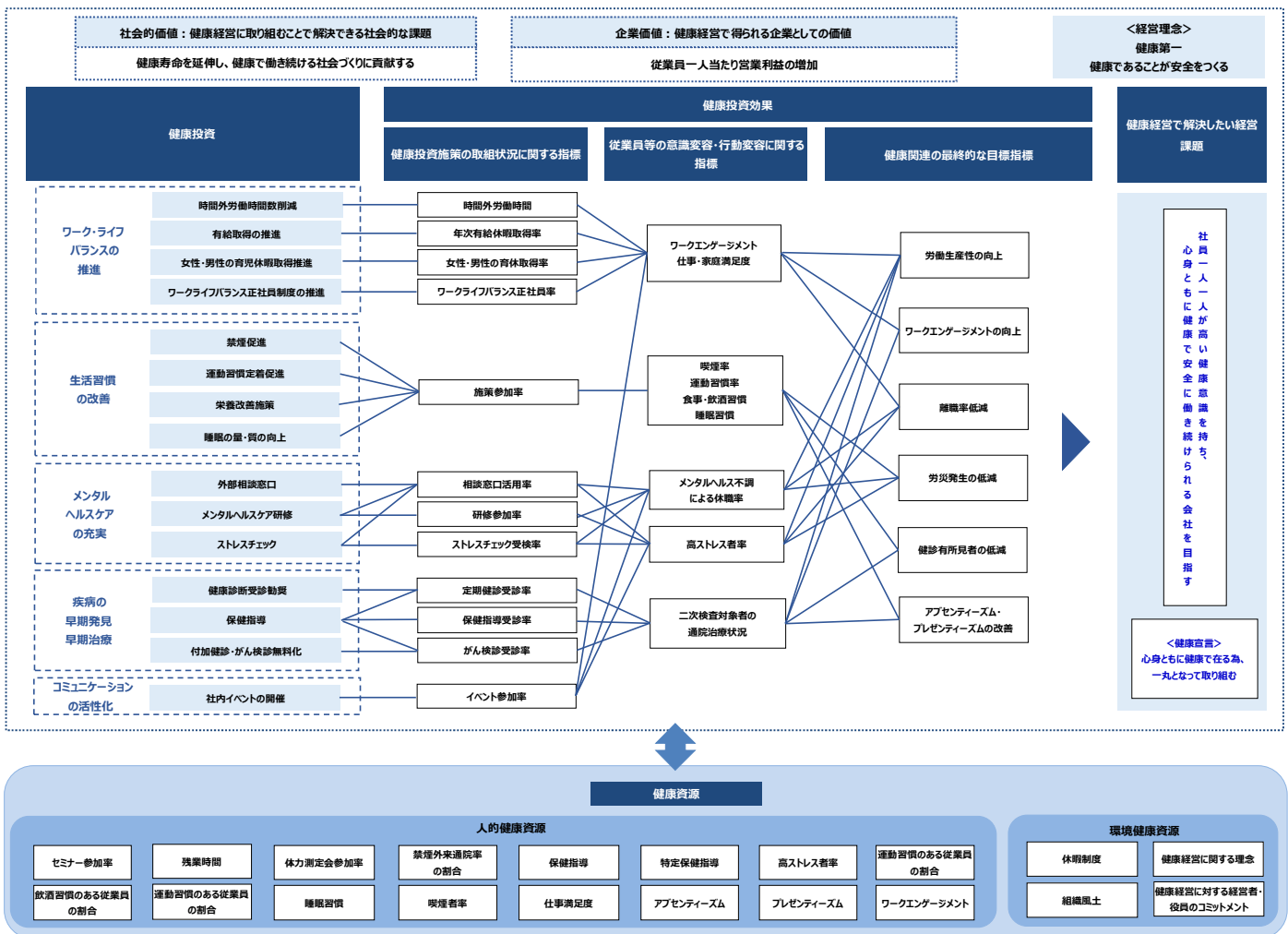
## 健康宣言

株式会社クリーンアップは、企業理念である「生活環境の維持向上に努め、未来の地球環境を考え行動する企業であり続ける」の実現のため、企業心得である「人に対し、自然に対し、物に対し、紳士・淑女である事」「人に対し、自然に対し、物に対し、思いやりを持てる人である事」に基づき、社員の健康、安心できる将来を約束するための職場環境づくりに邁進してまいります。

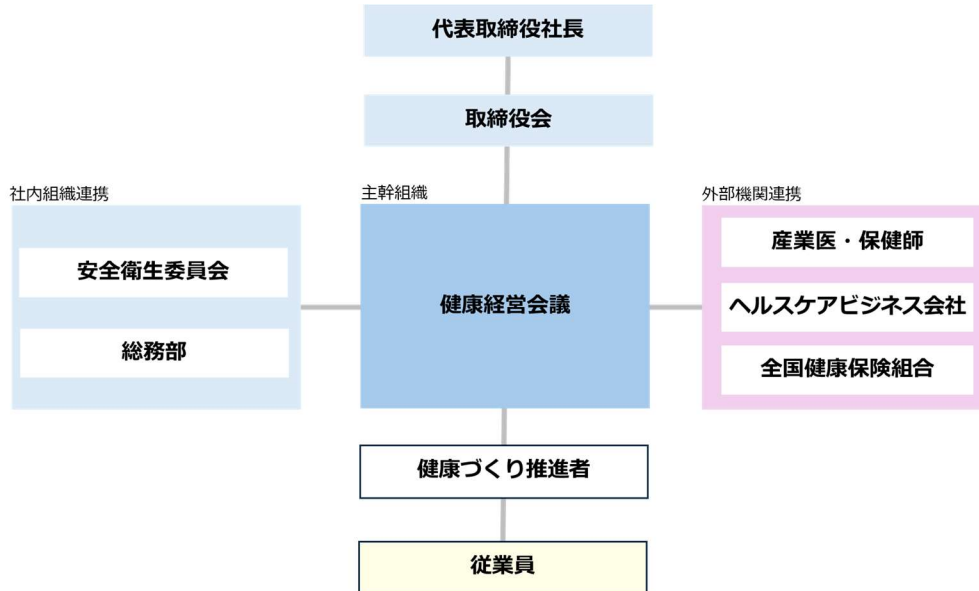
「健康であることが安全をつくる」を胸に、日々社員ファーストで健康経営に取り組んでまいります。

株式会社クリーンアップ  
代表取締役社長 山谷 義治

## 健康経営取り組み MAP



# 取り組み体制



## 数値実績

取り組み事項	指標	全国平均	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 目標	国の目標 (参考)
ワーク・ライフバランスの推進	平均月時間外労働時間（一般社員）	13.8時間	18時間	17時間	15.81時間↓	13時間以下	—
	年5日有給休暇取得率	—	100%	100%	100%	100%	100%
	有給休暇取得率	56.6%	62.1%	52.2%	65.08%↑	70%	70%
	ワークライフバランス正社員数	—	3名	2名	2名		—
生活習慣の改善	喫煙率	16.7%	20%	26%	20%↓	12%以下	12%
	適度な運動習慣者率	28.7%	0%	10%	12%↑	20%以上	40%
	1日の平均歩数（男性）	7,864歩	—	—	4,738歩	5,800歩	8,000歩
	1日の平均歩数（女性）	6,685歩	—	—	3,808歩	4,800歩	8,000歩
	朝食習慣者率	87.9%	88%	87%	91%↑	100%	—
	睡眠時間が十分に確保できている者 （6～9時間）の割合	54.5%	—	—	59%↑	60%以上	60%
	睡眠で休養がとれている者の割合	78.3%	41%	65%	68%↑	80%以上	80%
メンタルヘルスケアの充実	ストレスチェック受検率	—	100%	100%	100%	100%	—
	メンタルヘルス不調による 長期欠勤・休職者率	13.3%	0%	0%	0%	0%	—
病気の早期発見・早期治療	健康診断受診率	—	100%	100%	100%	100%	—
	有所見者率	58.3%	71.0%	53.8%	59.4%↑	58%以下	—
	二次検査受診率（治療継続者含む）	—	—	—	22.2%	50%以上	—
	ハイリスク者の二次検査受診率	—	—	100%	100%	100%	—
	特定健康診断受診率	24.7%	100%	100%	100%	100%	45%
	メタボリックシンドローム該当	24.5%	12.5%	24.0%	23.1%↓	20%以下	—
	メタボリックシンドローム予備軍該当	17.0%	20.8%	20.0%	23.1%↑	17%以下	—
1人あたり医療費	167,783円	194,188円	126,293円	138,376円↑	—	—	

※メンタルヘルス不調による長期欠勤・休職者：1か月以上連続して欠勤・休職した者

※ハイリスク者：健康診断結果にて、産業医が生活習慣病の重症化リスクが高い、就業上留意が必要であると受診・再検査を指示した者

生産性と働きがいに関する指標	全国平均	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 目標	国の目標 (参考)
プレゼンティーズム（%）	84.9%	83%	76%	78%↑	85%以上	—
アブセンティーズム（日）	2.6日	1.9日	2.0日	4.7日↑	2.6日以下	—
ワークエンゲージメント（点）	2.52	2.8	2.7	2.8↑	2.8以上	—

※プレゼンティーズム：仕事のパフォーマンス指標（0～100%で高いほうがパフォーマンスが良好）

東大一項目版アンケートにて把握

## 健康課題

- ・健康診断有所見者の二次検査受診率が低く、将来の生活習慣病リスクにつながる可能性がある。
- ・運動習慣のある者の割合が低く、運動習慣のない職員が多い。
- ・睡眠時間を十分に確保できている割合は全国平均を上回るが、睡眠で休養が取れている者の割合は全国平均を下回っており、睡眠休養感の少ない職員が多い。
- ・引き続き、喫煙継続者への喫煙による健康被害低減への取り組み（目標喫煙者 0）が必要。

## 各種取り組み

### <ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進>

- 1 時間外労働時間の削減への取り組み（安全衛生委員会・管理職）
- 2 有給休暇取得の推進
  - ・有給休暇取得推進日の設定（年 12 日）
  - ・計画的な有給取得の推進（年間有給休暇取得予定の作成）
- 3 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 4 夏季休暇 8 連休、冬季休暇 9 連休の設定
- 5 IC カード型勤怠管理システムの導入
- 6 ワークライフバランス正社員制度の導入
- 7 子育て支援金の支給（子一人につき 20,000 円）

### <疾病の早期発見・早期治療 生活習慣の改善>

- 1 就業時間中の定期健康診断の実施
- 2 35 歳以上の従業員に対する生活習慣病予防検診の実施
- 3 60 歳以上の職員は半年に 1 回の健康診断実施
- 4 生活習慣病の高リスク者に対する特定保健指導の実施（就業時間内）
- 5 ハイリスク者への保健指導の実施（産業医）
- 6 希望者への保健指導の実施（保健師）
- 7 胃カメラ検査費用助成
- 8 付加健診（眼底検査、腹部超音波検査、肺機能検査、血液学的検査、生化学的検査、尿沈渣）費用助成
- 9 各種がん検診の費用助成
- 10 骨密度検査費用助成
- 11 がん保険の加入（会社が費用負担）

### <メンタルヘルスケアの推進>

- 1 ストレスチェックの実施
- 2 社内相談窓口の設置（保健師）
- 3 外部相談窓口の設置（産業医・外部委託機関）
- 4 産業医と連携し、電話や面談による無料カウンセリングの実施
- 5 産業医と連携し、退職者への支援の実施
- 6 メンタルヘルスケア研修の開催（2024 年 3 月実施 参加率 75%）

### <感染症予防対策>

- 1 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ発生時における BCP 規程の策定・運用
- 2 新型コロナウイルス感染症、抗原検査キットの全社員配布
- 3 予防接種（インフルエンザ、風疹、麻疹、新型コロナウイルス感染症）費用助成
- 4 アルコール消毒液の設置、手指消毒の励行
- 5 事業所内の定期的な消毒の実施（通年）
- 6 空気清浄機の設置

### <コミュニケーションの活性化>

- 1 コンサドーレ札幌全社応援会の開催（R5 年 7 月実施 参加率 91%）
- 2 レバンガ北海道全社応援会の開催（R5 年 3 月実施 参加率 78%）
- 3 ノルディーア北海道全社応援会の開催（R5 年 7 月実施 参加率 94%）
- 4 体力測定会（年 1 回）の開催（R5 年 8 月実施 参加率 91%）
- 5 会社研修会（懇親会）の開催（R5 年 6 月実施 参加率 100%）
- 6 ハラスメント対策の実施
  - ・社内相談窓口の設置
  - ・社外相談窓口の設置
  - ・ハラスメント研修の開催

### <喫煙対策>

- 1 事業所内全面禁煙（2021 年度より）
- 2 喫煙調査の実施（R5 年 6 月実施 回答率 100%）
- 3 禁煙外来の治療費助成
- 4 禁煙外来受診費用補助（保険適用の自己負担分の費用を助成）  
（禁煙促進ポスターの掲示、リーフレットの配布）

### <従業員の生産性低下防止>

- 1 睡眠管理アプリの提供、研修の実施
- 2 各種業務の作業の標準化、マニュアル作成の推進
- 3 作業中の熱中症予防のため、熱中症予防グッズの現場への携行
- 4 労働時間の適正化の推進

### <女性特有の健康課題に特化した取り組み>

- 1 乳がん・子宮頸がん検診費用の助成
- 2 骨密度検査費用助成
- 3 社内相談窓口の設置（保健師）
- 4 社外相談窓口の設置（産業医・外部委託機関）

### <ヘルスリテラシーの向上>

- 1 健康習慣アンケートの実施（2023 年 5 月実施 回答率 100%）
- 2 健康増進や疾病予防に関する情報発信（毎月）
- 3 食事・栄養管理支援アプリの導入
- 4 運動機械増進アプリの導入
- 5 睡眠管理アプリの導入

## 2023 年度の成果と効果検証

定期健康診断の有所見者の二次検査受診率に関しては、ハイリスク者においては 100%となっています。全体では 2 割程度となっており、引き続き二次検査受診勧奨を行うとともに、二次検査受診への動機づけの方法を検討していきます。また、受診はしたものの会社へ未報告の職員も一定数いると考えられることから、二次検査結果報告を会社へ行うことのメリットを改めて伝え、報告依頼を継続していきます。

適度な運動習慣者の割合は、経年的に増加しており、前年比 2%改善しました。2023 年度は初めて体力測定会を開催しており、自身の体力を知る機会を作り、運動へのモチベーション向上を図る機会となったと考えられます。次年度以降も継続する予定となっています。全国平均である 28.7%を目標に、引き続き運動を習慣づけるための取り組みを継続していきます。

睡眠で休養が取れている者の割合は 2022 年度に 24%の大幅な改善がみられ、2023 年は前年比 3%改善と、睡眠の質の改善がうかがえます。全国平均の 78.3%を目標に、引き続き睡眠アプリの活用や睡眠に関する健康情報の周知等を図っていきます。また、睡眠と関連の深い時間外労働の適正な管理についても引き続き取り組んでまいります。

喫煙者率は、前年度比 6%改善しました。「健康日本 21 (第三次)」の目標値である 12%、将来的には喫煙者率 0%を目標に、今後も喫煙に関する情報提供や禁煙外来補助制度の整備等の取り組みを継続していきます。